



# 特別活動ハンドブック

## —小学校 学級活動—



### 1 目標

#### 特別活動の目標

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

#### ※望ましい集団活動

次の6つの条件があります。

- ア 活動の目標を全員でつくり、その目標について全員が共通の理解をもっていること
- イ 活動の目標を達成するための方法や手段などを全員で考え、話し合い、それを協力して実践できること。
- ウ 一人一人が役割を分担し、その役割を全員が共通に理解し、自分の役割や責任を果たすとともに、活動の目標について振り返り、生かすことができること
- エ 一人一人の自発的な思いや願いが尊重され、互いの心理的な結び付きが強いこと
- オ 成員相互の間に所属感や所属意識、連帯感や連帯意識があること
- カ 集団の中で、互いのよさを認め合うことができ、自由な意見交換や相互の関係が助長されるようになっていること。

※望ましい集団活動を通して…「(実際の) 活動を行って」の意味です。「なすことによつて学ぶ」(Learn by Doing) が特別活動の原則手法です。

#### 学級活動の目標

学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。

### 2 内容

小学校における学級活動の内容は、学年別のものと全学年共通で扱うものに分かれて示されています。

#### 学年別の内容

##### 〔第1・2学年〕

学級を単位として、仲良く助け合い学級生活を楽しくするとともに、日常の生活や学習に進んで取り組もうとする態度の育成に資する活動を行うこと。

##### 〔第3・4学年〕

学級を単位として、協力し合って楽しい学級生活をつくとともに、日常の生活や学習に意欲的に取り組もうとする態度の育成に資する活動を行うこと。

〔第5・6学年〕

学級を単位として、信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくとともに、日常の生活や学習に自主的に取り組もうとする態度の向上に資する活動を行うこと。

**全学年共通の内容**

〔共通事項〕

(1) 学級や学校の生活づくり

- ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
- イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理
- ウ 学校における多様な集団の向上

(2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全

- ア 希望や目標をもって生きる態度の形成
- イ 基本的な生活習慣の形成
- ウ 望ましい人間関係の育成
- エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解
- オ 学校図書館の利用
- カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
- キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

3 指導過程

学級活動を指導する際、以下のような流れで進めていきます。

(1) 学級活動の指導計画

	(1) 学級や学校の生活づくり	(2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全
	主として、みんなで決定して、 みんなで取り組む活動	主として、自分で決定して、 自分で取り組む活動
事前の活動	<b>① 議題の収集・発見</b> ↓ 議題箱、学級日誌、朝の会や帰りの会での話合いや反省、教師の投げかけ等から議題を見付ける。	<b>① 課題の確認</b> ↓ 教育相談、日常の観察、学級活動年間指導計画等から課題を見付ける
	<b>② 議題の選定</b> ※計画委員会中心 ↓ 議題案を計画委員会が集約し、朝の会等で目標を実現したり、問題を解決したりするための全員で話し合うべき <b>議題</b> を学級全員で選定する。	<b>② 題材の決定</b> ↓ 個々の児童が共通に解決すべき課題として <b>題材</b> を決める。
	<b>③ 計画の作成</b> ※計画委員会中心 ↓ 提案理由を練り上げ、話合いの柱、役割分担、資料の作成等を検討し、本時の活動計画を立てる。	<b>③ 計画の作成</b> ↓ 発達段階に即して児童の自主的な活動を取り入れるようにする。活動テーマ、テーマ設定の理由、活動方法、資料の作成等を検討し、本時の活動計画を立てる。
	<b>④ 問題の意識化</b> ↓ 学級全体に意識化を図るために、帰りの会等において事前に連絡し、自分の考えをまとめ、本時につなげ	<b>④ 問題の意識化</b> ↓ 学級全体に意識化を図るために、帰りの会等において事前に連絡し、自分の考えをまとめ、問題意識をも

	る。	てるようにする。
本時の活動	<p><b>話し合い活動（学級会）</b> 進行：計画委員会</p> <p><b>集団討議による集団決定</b></p> <p>提案理由の理解 ↓ <b>集団討議</b>（意見を交換する） ↓ 多様な意見を生かしたよりよい<b>集団決定</b></p>	<p><b>話し合い活動</b> 進行：教師または計画委員会</p> <p><b>集団思考を生かした自己決定</b></p> <p>問題の状況や原因の把握 ↓ <b>集団思考</b>（解決や対処の仕方とともに考える） ↓ 自分としての解決方法・めあてを<b>自己決定</b></p>
事後の活動	<p>○集団決定したことをもとに、全員で協力してみんな（集団）で実践する</p> <p>○活動の成果を振り返り、新たな課題等を整理し、評価する。</p>	<p>○自己決定したことをもとに、個人として努力し、一人一人（各自）が実践する。</p> <p>○努力の成果について振り返り、新たな課題等を整理し、評価する。</p>

## 4 学級活動における指導上の留意点

学級活動では、話し合い活動を通して、民主的な話し合いの仕方を身に付け、望ましい人間関係を形成し、自主的、実践的な態度をはぐくみます。

ここでは、学級活動の話し合い活動が形式的、画一的なものになってしまうことのないよう、最低限、留意すべき点を挙げておきます。

### 指導全般にわたっての留意点

○話し合いのルールを確立する

例 ○年○組 学級会ルール5か条

- 一 友だちの発表はしっかり
- 一 呼ばれたら返事をして立つ
- 一 自分の意見の理由を述べる
- 一 少数意見も生かすことができるように考える
- 一 みんなで決めたら、みんなで行う

話し合いのルールが確立されていない学級では、話し合いが成立しません。状況によっては、学級内の人間関係にも悪影響を及ぼすこともあります。学級活動をしっかりとしたものにするためには、年度当初にオリエンテーションの機会を設け、学級の話し合いのルールを確立し、徹底させましょう。



【学級活動コーナー】

○話し合いを深めるために、事前に計画委員会で学級活動の活動計画を作成するとともに、学級活動ノート（カード）を活用して児童に自分の考えを書かせておく

○学級活動コーナーを設置して、学級活動の予告や内容の確認ができるようにする。

○計画委員会の事前の指導を行う（提案理由、話し合いの柱、話し合いの進め方など）

○必要に応じて提示する資料を作成し、提示の仕方を工夫する

○話し合いの条件を明確にする、時間内で完結する（活動内容の効率化、指導の重点化）

○事前～本時～事後の一連の活動の中での教師の適切な指導・評価（激励や助言など）

○話し合い活動の経験を積み重ねて習慣付け、楽しさを味わわせる

○教科や道徳、総合的な学習の時間、特別活動の他の内容（児童会活動、クラブ活動、学校行事）との関連を考慮した指導を行う

○提案理由や学級目標に根拠を求める（理由、起因するものは何か）

## (1) 学級や学校の生活づくりの指導に当たって

### ○切実感のある（必要感のある）議題を選定する

児童にとって「話し合っ、みんなで実践してみたい」「話し合ったことで、生活がよりよく向上した」などと思えるものが望ましい議題です。  
事前に計画委員会において、「今すぐに話し合うべきもの」「学級全員に関係すること」「話し合っ、決めたことが実行できること」「学級や学校の生活をより楽しく、充実させること」など、いくつかの視点から選定します。

#### 議題（例）

	第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年
第1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どうぞよろしくのかいをしよう</li> <li>○クラスのうたをきめよう</li> <li>○おたのしみかいのけいかくをたてよう</li> <li>○クラスのこいのぼりをつくろう</li> <li>○あめのひのあそびをかんがえよう</li> <li>○「たなばたしゅうかい」をひらこう</li> <li>○「1がっきがんばったねしゅうかい」をひらこう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○係を決めよう</li> <li>○クラスの歌をつくろう</li> <li>○学級会コーナーの使い方を決めよう</li> <li>○雨の日の過ごし方を考えよう</li> <li>○「七夕集会」の計画を立てよう</li> <li>○「□□集会」の計画を立てよう</li> <li>○「1学期がんばったね集会」の計画を立てよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学級会の計画を立てよう</li> <li>○係をきめよう</li> <li>○学級活動コーナーの使い方を決めよう</li> <li>○修学旅行のバスレクの計画を立てよう</li> <li>○クラスのシンボルマークを作ろう</li> <li>○「1年生と遊ぶ会」の計画を立てよう</li> <li>○「雨の日室内レク大会」の計画を立てよう</li> <li>○AFTの先生に日本を紹介しよう</li> </ul>
第2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「なつやすみおもいでではっぴょうかい」をひらこう</li> <li>○「たのしいどくしょはっぴょうかい」をひらこう</li> <li>○クラスの「うんどうかい」をひらこう</li> <li>○なかよくボールをつかうやくそくをきめよう</li> <li>○ハロウィンパーティーをひらこう</li> <li>○「クリスマスしゅうかい」をひらこう</li> <li>○おもいですごろくをつくろう</li> <li>○クラスのカルタをつくろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏休み思い出発表会の計画を立てよう</li> <li>○学級文集を作ろう</li> <li>○読書集会の計画を立てよう</li> <li>○ミニオリンピックの計画を立てよう</li> <li>○ハロウィンパーティーの計画を立てよう</li> <li>○遠足のバスレクを考えよう</li> <li>○「クリスマス集会」の計画を立てよう</li> <li>○「係の仕事発表会」を開こう</li> <li>○「特技発表会」を開こう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○仲良しカルタを作ろう</li> <li>○陸上大会に出場する6年生を応援する工夫を考えよう</li> <li>○給食の時間を楽しく過ごすための工夫をしよう</li> <li>○学級文庫の使い方を考えよう</li> <li>○係発表会を開こう</li> <li>○係の自慢大会を企画しよう</li> <li>○クラスの劇をつくろう</li> <li>○自分たちの学級文庫をつくろう</li> <li>○「学級ギネス」記録をつくろう</li> <li>○学級音楽会を開こう</li> <li>○「読書集会」を開こう</li> </ul>
第3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ひなまつりしゅうかい」をひらこう</li> <li>○クラスのおひなさまをつくろう</li> <li>○「まめまきしゅうかい」をひらこう</li> <li>○「おもいでではっぴょうかい」をしよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「新年おめでとう集会」を計画しよう</li> <li>○係活動のまとめの会を開こう</li> <li>○「学級節分集会」を計画しよう</li> <li>○思い出すごろくを作ろう</li> <li>○思い出カルタを作ろう</li> <li>○「6年生を送る会」の出し物を決めよう</li> <li>○自分の入っているクラブを紹介しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○思い出カレンダーを作ろう</li> <li>○思い出すごろくを作ろう</li> <li>○クラスの紅白歌合戦を企画しよう</li> <li>○クラスの文集を作ろう</li> <li>○「思い出発表会」を計画しよう</li> <li>○下級生に「6年生を送る会」のお礼をしよう</li> </ul>



## ○集団決定の重みを理解させる

全員で決定したことには、一定の強制力や拘束力が働きます。もって行き方を誤ると、集団が望ましくない方向に向かってしまう恐れもあります。

内容項目(1)の話合い活動による集団決定が、望ましいものであるように、事前・本時・事後それぞれの活動の中で、教師による適切な指導・助言を行って話合いを進め、決定まで見守りましょう。

話合いの内容が間違った方向に行きそうになったら、毅然とした教師の指導により、軌道修正を行いましょ。

そして、話合いの結果、学級の総意として決定したことについては、結論であることから、学級の一員として自ら進んで実行するように働きかけるようにしましょう。

## ○集団決定の仕方を想定する～安易な多数決による集団決定にしない、少数意見を尊重する～

### 【教師が押さえておくべき主なポイント】

- 集団決定された結論が、自分の意見と同一か共通点が多ければ、成就感が高まります。
- 共通点が少なくても、自分の意見も話合いの中で十分検討されて結論に影響を与えたことを理解させます。
- 教師は、少数意見も部分的に話題として取り上げるように配慮します。
- 意見が取り入れられなかった児童には、発言を称え、今後も勇気をもって発言するよう励まします。
- 反対意見を述べた児童の不安を解決する方法や工夫をみんなで考えるようにします

## ○話合いの隊形を考える(コの字型、小集団等)

話合いを進めやすい隊形(座席配置)をつくり、児童の話合い活動の深まりをねらいます。

### コの字型

児童一人一人が互いの顔を合わせて話し合うことができます。みんなの顔を見て話したり、話している人に注目して耳を傾けて聞いたりする姿勢が育ちます。また、教師は真ん中部分を移動して児童全員と同じ距離で話ができるので、指導助言がしやすいといったメリットがあります。

### 小グループ別

学級全体の話合いでは、発言の機会を逸してしまう児童がいます。また、話を聞くことができない児童もいます。生活班などを利用して3～5人程度のグループ内で話し合うことによって、児童一人一人が確実に発言したり、友だちの発言を聞いたりすることができます。

学級活動の活動内容や議題、題材に応じて、学級の児童の実態に適した話合いの隊形を選択して授業を設計します。

## ○教師の助言(話合い前・話合い中、終末の助言)、価値付け

### 【教師が助言を行うタイミング】

- ▶ 自治的な活動の範囲を超えたとき
- ▶ 明らかに自己中心的な発言があったとき
- ▶ プライバシーに関する発言があったとき
- ▶ 話合いのルールからそれる、友人の発言に対し冷やかしかや中傷があったとき など
- ▶ 感情的な議論になりそうとき
- ▶ 話合いの焦点・方向性が定まらないとき
- ▶ ねらい、提案理由から話題がそれたとき

## ○提案理由を練り上げる

### 【提案理由に盛り込む内容】

- ① 学級の実態(課題を取り上げる…「学級にこのような課題がある」)
- ② 話し合う必要性(解決のために話し合う…「みんなで話し合って解決しよう」)
- ③ 問題の焦点化(解決の見通しをもつ…「解決したら、学級(私たち)はこうなる」)

## ○事後の活動を教師が見届け、次への活動意欲を醸成する

## ○児童に任せることができない条件(自治的な活動の範囲)はこえない

### 【自治的な活動の範囲とは(児童に任せることができない条件)】

- ① 個人情報やプライバシーの問題 例:住所録等
- ② 相手を傷つけるような結果が予想される問題 例:罰ゲーム等
- ③ 教育課程の変更にかかわる問題 例:時間割変更等
- ④ 校内の決まりや施設・設備の利用変更などにかかわる問題 例:もちもの、校内施設等
- ⑤ 金銭の徴収にかかわる問題 例:プレゼント交換 等
- ⑥ 健康・安全にかかわる問題 例:危険物 等

## (2) 日常生活や学習への適応及び安全の指導に当たって

### ○年間指導計画に基づいて授業を設計する

自校の年間指導計画を確認し、児童の実態を照らして課題を浮き彫りにし、扱うべき題材を決定します。

### ○話合いの活動形態を工夫する

活動内容(2)は教師主導で進めるパターンが主ですが、内容(1)同様、児童が主体的に活動できる部分があれば、その活動形態を工夫して児童主体で授業を進行させましょう。(児童による話合いの進行、小グループでの意見交換、インタビューなど)



#### 【児童主体の活動を取り入れる場の設定】

教師が題材を決定するが、教師の適切な指導の下に活動の進行を(1)同様、児童によるものとし、みんなが共通に解決すべき課題に向けて集団思考しているという連帯感を醸し出す。

#### 【多様な解決策を引き出す工夫】

##### ① 全体集団から小集団の話合いへ

全体集団で意見交換をした後、小集団でさらに話合いを深め、最終的に自分自身の問題としての自己決定に結び付けるようにする。

##### ② ゲストティーチャーの活用

専門的視野や経験をもった人をゲストティーチャーに招き、話を聞くことで思考を深める。

### ○事後の活動の実践化するために日常生活とのつながりをもたせる

内容(2)では、本時で児童一人一人が決定した自己の実践事項をいかに行わせて児童のよりよい変容につなげていくか、「日常化」が重要なポイントとなります。学級通信や他の教師からの称賛などを活用して児童のよりよい変容につなげていきましょう。

### ○家庭との連携を密にする

自己決定した内容(自己の実践事項)を記入したカード等の作成を工夫し、家庭で実践できるようにすることが考えられます。児童が実践することに保護者のコメントやサインを求めたり、学級通信で学級活動の様子を保護者に知らせるなどして、家庭との連携を密にしましょう。

## 学級活動の活動計画

学級活動の計画は、事前の活動の計画委員会において作成します。

学級活動の進め方について、計画委員会で話し合ったことを記入します。

本時の活動を想定して、あらかじめ気付いたことをメモしておくとういでしょう。

また、話合いがうまく進まなくなってしまう場合の方策・手立てを考えておくことで、ゆとりをもって話合いを進めることができます。

計画委員会で流れを確認することで、教師と進行に携わる児童が共通理解し、臨機応変に相談しながら話合い活動を進行することができるようになります。

※主に内容(1)で計画委員会を機能させます。

(2)でも計画委員会の活用が考えられます。

第 回 学級活動		平成 年 月 日 第 校時
議題		
役割分担	司会( ) ( ) 黒板記録( ) ( ) ノート記録( ) ( )	
提案理由		
めあて		
決まっていること		
話合いの順序	めあては提案理由の中から指針となるものを記入します。	気をつけること
1 はじめの言葉		
2 計画委員の紹介		
3 議題の確認		
4 提案理由の説明		
5 めあての確認		
6 決まっていること		
7 先生の話		
8 話し合うこと		
9 決まったことの発表		
10 学級会ノートへの記入		
11 感想発表		
12 先生の話		
13 おわりの言葉		
		資料・時間



## 学級活動ノート

学級活動ノートは、話し合いを深めるために使用するものです。教師にとっても、児童の考えや変容を把握する資料となります。事前に配布し、児童に考えを記入させ、計画委員会または教師が回収し、一人一人の考えを把握しておくことで話し合いがスムーズに進行できます。

### 学級活動ノート（例）内容（1）

内容（2）では題材や活動テーマ等の項目にします。

**資料の使い方**

- ・計画委員会が、議題・提案理由・話し合いのめあて、役割・話し合うことを記入し、印刷したものを、全員に配布します。
- ・自分の考えを記入し、計画委員会に提出します。
- ・計画委員は、学級活動ノートに目を通し、資料の準備や話し合いの進め方を考え、活動計画書を作成します。
- ・教師も意見に目を通し、励ましの言葉など朱書きして、返却します。
- ・学級活動の反省の記入後担任に提出し、丸をつけたり、一言記入したりして再度返却します。
- ・実践活動が終わった一区切りついたところで、計画委員が「実践を振り返って」の記入を呼びかけ、ノートを集めて、活動のまとめをします。

議題・議題等	反省・BGM	話し合うこと	役割	議題のめあて	提案理由	議題
<p>実践を振り返って</p> <p>自分の成長はちろん、友達や先生のよさを記入してある場合は、質問の言葉を記して返答するといでしょう。</p>	<p>自分の考えをもちつてまとめた。お友だちの意見をしっかりと聞いた。提案理由やめあてを考えた。自分よりよさそうな意見ができた。自分の自分よりよさかった。がんばった。</p>	<p>話し合うこと</p> <p>「一年生が九九を覚えられるように、みんなであたかたを復しよう」</p>	<p>司会 ○ ○ ○ ○</p> <p>司会 ○ ○ ○ ○</p> <p>黒板 ○ ○ ○ ○</p> <p>黒板 ○ ○ ○ ○</p>	<p>九九が正しく書けたら「おめでとう」と言ってみよう。九九が正しく書けたら「おめでとう」と言ってみよう。九九が正しく書けたら「おめでとう」と言ってみよう。</p>	<p>二年生が九九を覚えられるように、みんなであたかたを復しよう</p> <p>二年生が九九を覚えられるように、みんなであたかたを復しよう</p>	<p>第十二回 学級活動 ドリーム六の一会議 名前(○○○○)</p> <p>議題「九九をがんばっている二年生を応援しよう」 / (金) 五時</p>

### 計画委員会の事前の指導

	議題の整理 ※内容（1）のみ	活動計画の作成
計画委員会の司会進行例	<ol style="list-style-type: none"> <li>これから、計画委員会をはじめます。</li> <li>議題ポストに入っていた議題を発表します。</li> <li>今度の学級活動の議題を今日の帰りの会で、学級のみんなに決めてもらいます。</li> <li>その他の議題は、どのようにしたらよいですか。</li> <li>それでは、他の議題は○○○○のようになります。</li> <li>提案理由が、よりみんなに伝わりやすくなるように話し合しましょう。</li> </ol>	<p>内容（1）帰りの会で議題を決定した後 内容（2）教師が決定した題材を示した後</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>この議題（題材）を解決するためには、どんなことを話し合えばよいですか。</li> <li>学級活動で話し合う内容は、このようになります。どれから話し合えばよいですか。</li> <li>内容ごとに気を付けることはどんなことですか。</li> <li>計画委員会で準備することやみんなにお願いすることはありますか。</li> <li>学級活動当日の計画委員の役割を決めます。</li> </ol> <p>司会：1名 黒板記録：2名 ノート記録2名など</p> <p>※内容（2）は、教師が活動計画を計画委員に示して話し合いを行います。</p>

## 5 内容ごとの実践例

### 学級活動 内容（１）の実践例 第４学年

議題 **4年1組の係を決めよう**

**事前の活動**

- ◆提案された議題案の選定（計画委員会）
- ◆議題の選定（帰りの会等）
- ◆活動計画の作成（計画委員会）
- ◆学級活動ノートの記入（帰りの会等）

**本時の活動**

- 1 はじめのことば
- 2 計画委員会の紹介
- 3 議題の確認
- 4 提案理由の説明
- 5 めあての確認
- 6 決まっていることの確認
- 7 先生の話
- 8 話し合うこと

(1) どんな係が必要か考えよう  
《話し合いのポイント》  
学級をよりよく、楽しくすることに焦点を置き、一人一人の思いや願いを生かして学級に必要な係のポストを決定する。

(2) 係の分担を決めよう  
《話し合いのポイント》  
自分の得意なことや自分ならできそうなことを考えて係を決めるように助言する。人数に偏りがあるときは、希望する係の変更を促すなど「折り合い」を付け、設置した学級の係がすべて成立するように方向付ける。

- 9 決まったことの発表
- 10 学級活動ノートへの記録
- 11 感想発表
- 12 先生の話
- 13 おわりのことば

**事後の活動**

- ◆決定した各係ごとの話し合い（係の愛称、係の中の役割分担などを決定する、掲示物をつくる等）  
例：爆笑チーム（コント係）、何でもニュース（新聞係）、健康づくり隊（保健係）
- ◆係ごとの活動開始、実践
- ◆「係の活動発表会」の計画、実施（各係の取組を発表し合い、係活動の活性化を図る）

### 学級活動 内容（２）の実践例 第５学年

題材 **男女仲よく**

**事前指導（事前の活動）**

- ◆年間指導計画と児童の実態からの題材の選定（教師、計画委員会）
- ◆指導（活動）計画の作成（教師、計画委員会）
- ◆学級活動ノートの記入（帰りの会等）

**本時の活動**

- 1 はじめのことば
- 2 計画委員会の紹介 ※計画委員会を機能させる場合
- 3 課題の把握

- ・アンケート集計結果の発表（計画委員）
- ・結果を受けて気付いたことの発表

- 4 本時の題材提示（教師 or 計画委員）
- 5 話し合うこと

(1) どうして男女でトラブルになってしまうのか、原因を考えよう  
《話し合いのポイント》  
アンケート結果から、男女でのトラブルや場面を押さえ、普段の生活体験を想起させて意見を交わす。

(2) 男女の仲がよいと、どんな楽しい学級になるか考えよう

(3) どうしたら男子と女子が仲良く過ごすことができるかを考えよう  
《話し合いのポイント》  
小グループになって、児童一人一人がめあてを実現した学級集団のよいイメージを想像して発表し合う。

- 6 意見交換をした内容の発表
- 7 学級活動ノートへの記録（自分のめあてと方法を決める）
- 8 自分のめあての発表
- 9 先生の話
- 10 おわりのことば

**事後指導（事後の活動）**

- ◆日常の学校生活での実践、振り返り、軌道修正
- ◆学級活動の内容（１）の活動で、男女の交流を図る取組を考え、実践する。
- ◆係活動やグループ活動等で男女で協力させる機会を多く設定する。